

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回小金井みんなの給食委員会会議録
事務局	学校教育部 学務課
開催日時	令和3年4月26日(月) 午後3時～午後4時30分
開催場所	本庁舎第一会議室
出席委員	不破委員、内田委員、宇野委員、澁谷委員、鈴木委員、片平委員、伊熊委員、吉岡委員、高野委員、松田委員、川上委員、五十嵐委員、大友委員
欠席委員	林委員、坂口委員、印牧委員
会議次第	(1)委員及び事務局職員の自己紹介 (2)会長及び副会長の選出について (3)教育委員会からの報告 (4)今年度の活動内容について (5)その他 (6)次回の開催について
主な意見等	(1)委員及び事務局職員の自己紹介 (委員) ・小中学校長会を代表して参加させていただく。東小学校から本町小学校に異動になった。給食委員会も最初から携わっている。今後ともよろしく願います。 ・東小学校で栄養教諭を務めている。よろしく願います。 ・今年度、栄養士会を代表して参加させていただく。よろしく願います。 ・本町小学校で調理をしている。よろしく願います。 ・三小で給食調理をしている。初めて委員を引き受けた。よろしく願います。 ・南中学校、小金井第一中学校を受託させていただいている。よろしく願います。 ・小金井第二小学校、南小学校を受託させていただいている。4月より前任者より引継ぎさせていただいた、よろしく願います。 ・昨年度まで委員として参加させていただいたが、会社の体

- 制変更に伴い異動となった、後任者をよろしく願います。
- ・ P T A 連合会から出向で参加させていただく。緑小に 1 年生と 6 年生の子が通っている。よろしく願います。
 - ・ 市内でアレルギー対応の製菓店を営んでいる。アレルギーの観点からも給食にかかわりたいと思っている。よろしく願います。
 - ・ 子供は卒業したが、市内の小中学校で給食にお世話になった。給食を試食して小金井市の給食のすばらしさを承知している、今後維持していきたいと思う。
 - ・ この会には立ち上げから参加している。よろしく願います。
 - ・ 昨年から P T A の方から出向してきた。緑小に 1 年生と 5 年生の子が通っている。よろしく願います。

(教育長)

皆さんこんにちは、今日は、令和 3 年度小金井みんなの給食委員会運営委員会を開催したところ、このようにお集まりいただき感謝する。ご承知のとおり、小金井の給食は安全でおいしくてあたたかい給食ということを目指して、これまでも日々努力をしてきたわけで、これはまさに小金井の宝であり、今後も守り続けなければならない大切なことだと認識している。そういうことが実現できていることは多くの人達の努力のたまものであり、それをなくしては、今の小金井の給食は無かったものと認識している。思い起こせば、栄養を補給するための給食から、子供たち 1 人 1 人の健康を考えた給食、そしておいしい給食、そういうことに段々と変わってきたように思う。このコロナ禍の中でさらにこの給食の役割というのが、一つ大きく浮き彫りになったのではないかなと思う。安全でおいしい温かい給食をとともに食べるということが、人と人とのつながりをさらに大きくするという大きな役割があることに気が付き、そのような給食を今後もしっかりと継続していきたいということを、小金井市教育委員会も強く思っているところで、そこに対して、皆さんの活発なご意見をいただきながら、このことを守り続けて行きたいと思っているので、どうかよろしく願います。

最後に、委託をしていただいている会社の方々には、子供たちの評判も上々で安全でおいしく温かい給食を提供していただいていることに、改めてこの場をお借りして、お礼申し上げます。さらに今後もしっかりとおいしい給食を提供していただけるよう努力をお願いして、挨拶とさせていただきます。

- ・ 学校教育部長をしている。よろしく願います。
- ・ 4 月 1 日より学務課長を拝命受けた。よろしく願います。
- ・ 学務課保健給食係で栄養士をしている。よろしく願います。

- ・学務課保健給食係で学校保健を担当している。よろしくお願ひする。
- ・学務課保健給食係の係長をしている。風邪気味なので廊下で待機させていただく。よろしくお願ひする。

(2) 会長及び副会長の選出について

(事務局)

要綱第五条に委員の互選によることとなっている。会長に立候補あるいは推薦はあるか。

(委員)

これまでの経験や学校現場のことを考え、不破委員を推薦したいと思う。

(事務局)

ただいま、不破委員を会長にどの推薦が上がってきているが、他にあるか。

他に無いようですので、諮らせていただく。会長を不破委員に決定することにご異議はあるか。

—異議なし—

ご異議はないようですので、不破委員を会長に選任させていただく。

(会長)

昨年度から引き続き会長を務めさせていただく。この会には発足時からかかわっている。今年度から本町小学校に異動になった、改めて新鮮な気持ちで臨んでいきたいと思う、よろしくお願ひする。

引き続き、副会長の選任に移らせていただく。副会長に立候補あるいは推薦はあるか。

(委員)

・昨年は、栄養士さんから1人、市民公募から1人が選出されたので、市民公募の内田委員を推薦する。

(会長)

内田委員を副会長にどの推薦があったが、他に推移はあるか。

(委員)

・この委員会の目的は学校給食の支援見守りをする事なので、学校給食に理解の深い栄養教諭の伊熊委員を推薦する。

(会長)

伊熊委員を副会長にどの推薦があったが、他に推薦はあるか。

それでは、お諮りする。内田委員を副会長に選任するという事にご異議はあるか。

—異議なし—

次に、伊熊委員を副会長に選任するという事にご異議はあるか。

—異議なし—

それでは、内田委員、伊熊委員を副会長に選任させていただく。

(3)教育委員会からの報告

(学務課長)

学務課から報告させていただく。学校給食の民間委託に関して、新たに令和3年3月22日職員組合と合意に至ったので、その内容について報告させていただく。内容について、一つ目として、令和4年(2022年)4月から小金井第三小学校の給食調理業務を民間委託すること、二つ目に、令和6年(2024年)4月から的小金井第一小学校の民間委託については、事前に委託状況の労使検証を行ったうえで実施するものとする。三つ目として、令和8年(2026年)4月から東小学校及び本町小学校の給食調理業務の民間委託については、引き続き労使で協議するものとする。4番目として、この委託によって生み出された財源については、学校施設等の整備や明日の小金井教育プランの推進に充てるものとする。この合意内容を一報としてご報告させていただく。

(会長)

教育委員から報告に対し、何かご意見、質問はあるか。

(委員)

以前、委託を進めるときに、直営校と委託校でやっていく、それが素晴らしい体制という説明が市民に対してあったが、それをどのように変えていくという説明が、市民、保護者にされていないので、やっていただきたい、

(学務課長)

小学校の給食調理委託については、5校委託4校直営という形できているが、民間委託をしている学校においても十分においしい安全な給食が提供されてきたものと考えている。調理業務を民間委託する訳だが、栄養士は、これまで直営の職員を配置するというやり方の中で、十分に安全な小金井らしい給食が提供されてきていることを認識している。市のおかれた財政状況、教育への更なる充実、教育全体の更なる充実というところを総合的に考えた中で、生み出された財源を更なる小金井市の教育に図っていくという目的もある。

(委員)

2点ある。委託の順番、学校の順番は、どのような理由と根拠で決めたのか伺いたい。次に、今まで年1回の検証を栄養士、調理員が行ってきたと思うが、その役割は全校委託になったとき、どのようなになるのか伺いたい。

(学務課長)

順番ですが、学校の規模に応じた財政効果というもの考えたということと、施設整備が整っている学校から民間に委託

するという事を考えて、三小、一小という順番にしている。検証については、結論という訳でないが、私の考えでは、栄養士を2人配置するなど一つの方法と思う。また、委託会社にも他社を見づらいかもわからないが、そういう役割をお願いし、他社を見ることによって、自分達のところも考えていただくのも一つの方法と考える。いろいろな方法があると思うので、これまでに劣らないような検証体制を整えていきたいと考えている。

(委員)

委託によって浮いた財源を設備とか小金井教育プランに充てるということだが、給食と関係のないところに財源が行くということになるのか。

(学務課長)

すべて給食という訳ではないが、教育をしていくという観点で他のところも大事なところと考えている。子供たちへの還元を前提として、教育全体に還元していくという考えである。

(委員)

今後、市民、保護者に対して説明は、具体的にいつどのような形で決まっているのか。

(学務課長)

保護者説明会は、三小と一小、それから、全体的な説明会で3～4回ほど、遅くても7月末までに開催したいと考えている。

— 教育長、学校教育部長 公務のため退席 —

(4)今年度の活動内容について

(事務局)

給食の試食は、緑小学校にお願いする予定。日程等は学校に確認させていただくが、コロナの影響で保護者向けの試食会を開催しない場合など、慎重な検討が必要と考える。給食の試食があった場合は、試食後の会議を開催する予定だが、試食が無い場合は、通常会議の開催とさせていただく。試食会ができるようであれば、別途連絡させていただく。

(会長)

試食会について、何か意見等あるか。

(委員)

・このような状況で市内のイベントなども直前になってキャンセルになったりすることが日常茶飯事となっているが、全くしないのもこれからのために良くないのではないかと思う。ある程度予定をいくつか見込んで、その中でできるときに行わないと試食は難しいのではないか。講演会についてもリアル開催ができれば良いが、配信にするとか、日程が関係

するものについては、複数候補日を上げておくのが良いと思う。

・試食会を具体的にを行うということは、一応計画は立てていくべきと思うが、実際には難しいということも想定していきたいと思う。昨年度は、給食の献立をホームページで公開していたが、市民の中で反響があったと思うが、試食ではないが、給食を家庭で作って感想を寄せていただくとか、給食に興味を持ってもらえるような仕組みづくりを検討していただきたい。

(事務局)

農家見学については、まだ伺っていない農家さんの見学をしたいと考えている。栄養士の代表に農家選定、日程調整等をお願いしたいと考えている。

(会長)

農家見学について、何か意見等あるか。

ーなしー

(事務局)

講演会については、今年度も引き続きコロナ禍ということで、講演会が行えるかどうかの検討が必要と考えている。開催できると判断した場合、どのような形で行うのか検討をお願いしたい。

(会長)

講演会の内容も含め、何か意見等あるか。

(委員)

・今の状況では、リアル開催とオンライン開催を同時進行で企画した方が良いと思う。一昨年、会場の規模が小さいので、全学校の保護者にお知らせがいかなかったが、他の学校の方から参加したかったという声を聞いたので、会場に来ていただける方、それ以外の方にも広く聞いていただく、もしくは生配信でなくても録画したものを後日配信するとか、今の段階から同時進行で検討していきたい。

・試食会は学務課、農家見学は栄養士の方で調整することになっているが、講演会については決まっていないと思う。年4回の委員会で、企画、検討、実施していくというのは、時間的に困難であると思うし、何か別な形で担当を決めるとかをしていかないと難しいのではないか。私たちのできるところはやっていきたいと思っている。もしくは、委員だけでなく、ボランティアを募って、手伝っていただくとか、関心のある保護者に手伝っていただくとか、そういったことも検討できるのではないか。

・予算についてです。一昨年は、講師の予算はあったが、会場の予算は無かったと思うが、今年度はどうか。

(事務局)

講師の予算は取っているが、会場の予算は取っていないの

で、行政使用として無料で開催できる場所というところ、萌え木ホールというのが一番大きいと思う。ただ、コロナ禍で、現在萌え木だと100人位が定員だが、定員の半分で開催して欲しいというのが、集会施設利用のルールになっているので、それぐらいを目安に考えていただくというのがひとつ、残念ながら市民交流センターの行政使用は実はお金がかかる仕組みになっているので使えない。

(委員)

・この給食委員会の目的指針を推進していくということがあると思うが、指針についてよくわからないことがあるので、読み合わせとかできたらよいと思うがいかがか。

・何回かやったが、時間がかかるということがあって、終わりになっていたと思う。できれば会議とは違う形で、例えば会議が始まる前とかに有志だけが参加するような形で行ってはどうか。

・そうですね。新しい委員には、読み合わせがあった方がいいと思う。

・食材の選定基準について、わかりにくいと思ったのが、米、麺、野菜を除く食品は校長会と栄養士が決めるとか、米、麺、野菜、肉、卵については、各学校で決めるとか、パン、牛乳については、教育委員会が決めるとか、決定する機関が違う理由や、基本的な考え方に国産の食材を基本とすると書いてあるが、その理由を伺いたいということがある。

(会長)

指針の疑問点について、会議の前や後に集まった方で情報交換していただくというような共通理解でよろしいか。

(委員)

・栄養士に入っていたきたい。

・協力いただけるのであれば、私も参加したいと思う。

・私も委員会に参加してみて、不安というか、直営じゃなくなって、委託になっていくことで、いろいろなことが悪く変わってしまうのが問題なんじゃないかと、なんとなく前回感じて、みんなの給食委員会、小金井市の学校給食の指針というものが変わらなければ、委託になっても直営であっても、指針に沿ってきちんと運営されているということが、きちんとした形で決められていくのであれば、保護者も不安を感じなくて済むのではないかと、指針について直営の方と民間の方の読み合わせをしながら、守られているとか確認できればいいのかなと思う。

・指針の見直しについても、この場で話し合うことが提案されていたと思うが、それについてはどうか。

・確か、意見を出すという位で、ここで決めるわけではなかったと思う。

(吉岡委員)

・不安というところで、食材の発注とかは栄養士がするので、委託になったからと言って、食材が変わるということ一切ないので、その不安は無いと思う。

(委員)

・保護者説明会の時に、その情報も説明していただけると、安心すると思う。民間委託の出回っている情報では悪いイメージをする方もいると思うので、説明していただければ安心すると思う。

(吉岡委員)

選定するところだが、パンや麺については、東京都学校給食会というところが選定しているものを使用しており、豆腐や肉や野菜やそういった食材については、2年に1回、選定会を開いて使う業者ですとかを厳選している。また、出汁をとる鰹節とか昆布といったものも、栄養士が出汁を取ってみて、使う味噌とかも味の良さとか、安全性を基準に選定している。

(委員)

安全性について具体的に伺いたい。

(吉岡委員)

規格表を取り寄せて、遺伝子組み換えとか確認している。

(委員)

小麦とかだと外国だとプレハーベストで、多少枯らして収穫すると作業がしやすいということで、収穫前の小麦に農薬をかける収穫方法をしている外国、アメリカ、カナダが多いが、日本でもその収穫方法が大豆では許可されている。なので、味噌とか大豆製品に関してはその方法が行われているかどうか、収穫直前にまくので、かなり農薬の影響というものがあると思うので、収穫方法も規格表に載っているのか。

(吉岡委員)

載ってはいないが、問合せはすることはできると思う。

(委員)

是非、問合せができるのであれば、確認していただきたい。低農薬というところに当てはまると思う。

(会長)

指針の読み合わせというところまでいかななくても、参加された方が時間を見つけて情報交換をするという整理でよろしいか。

－意見なし－

(5)その他

(委員)

委託の説明に戻るが、第3次明日の小金井教育プランが発表されていると思うが、給食関連設備についての記載がある。そこに委託の話がでてくるので読み上げますと、「学校給食調

理の民間委託をさらに進め、それによって生み出された財源を利用し、小中学校学校給食に係る施設、空調設備など、備品だけでなく学校の設備等の改修など計画的に活用していきます。小金井市の伝統である安全でおいしくあたたかい給食の充実を図るために、第三者機関を設置し、点検や見守りを行うとともに、給食を通じた食育の推進にも努めてまいります。」という記載があるが、第三者機関の設置というのは、具体的にどのようなことか。この給食委員会が当てはまるのか、伺いたい。

(学務課長)

第三者機関について具体的というのは、今はまだ具体的に決まっています。このみんなの給食委員会、こういう自由闊達な意見が言えるようなこの環境下でありながら、こういう場になっているけれども、細かい話だが皆様にはボランティアで来てもらっている形になっていて、無報酬でやっていただいておりますが、例えば、何々審議会として位置付けるというような形になると、当然報酬を支払うことになるが、条例に審議会として位置付けるというようなことになる。正式に市の附属機関のような位置づけにするのであれば、二つのみんなの給食委員会のようなものが併存するようなことは、他の部署で監査委員会から指摘をされた事例があり、第三者機関に位置づけを変えていくのが望ましいのか、なにか別の形を取った方が良いのか、まだ結論が出ていない。

(委員)

審議会というのは市長から諮問がされた件について話し合う場になるのか。

(学務課長)

審議会自体が自ら必要なことを協議して市長に申し立てるということもできる審議会もあれば、市長から言われて考えるそれは自分たちの方から提案していくという形態は両方取れるが、会として一つの結論を出していただくもので、会の中でもいろんな考えの方がいらっしやると思うが、個々人であまり賛成できない意見だとしても、会として意見を出すことになるので、そのように考えていただきたい。

(委員)

小金井市の給食を考えるうえで、そのような会は必要だと思っていて、進めていただきたいと思う。でも、みんなの給食委員会の良さがあって、審議会になると調理会社の皆さんに参加いただくというのは難しくなると思う。このようにお話ができるという場は貴重であると思っていて、残していただいて、小金井みんなの給食委員会は、審議会とはあきらかな違いがあるので、審議会ができてその下部のというような形でも、審議会の方でも生かしていただくという形での併存が望ましいと思っている。

・新学期が始まったので、調理員や委託業者の担当者から、各校の様子や現場の声を聞かせてもらえないか。

(会長)

それでは、時間の許す範囲でお願いします。

(委員)

・東小学校は、通常通り給食が開始したが、いつもと違うところが、班にしない、全員が前向いて給食を食べること、先生が机にパーテーションして給食を食べている。それから密にならないため、配膳台に並ぶ人数を4人までとしている。そのほか、食前の手洗いの徹底が食前食後の手洗いの徹底になっている。主観だが、静かにしゃべらずに給食を過ごすということが、かわいそうだなと思っているが、その代わりに、子供たちが委員会で給食時間をどのように楽しめるかを考えて、放送活動を行ったりするなど、より良い給食時間にしようとする子供たちの前向きな姿勢が見受けられる。

・東中学校です。中学校なので、今年の6月ですが、給食再開して前向いて食べるとか、間隔開けて並ぶとか、不安だったが、さすが中学生上手で、2年目の今は新1年生が来たが、小学校の頃からちゃんとしているのがみえて、配膳もスピーディにやっていて、給食をきちんと見て、味わって、食べて、おいしく思っているのかなと思っている。残菜も少なく嬉しく思っている。コロナ禍での給食だが、いつだれがコロナにかかるかわからないので、本当に事故無く遅延なく、給食ができていることが、皆さんの努力の賜物と思うし、今後もより良い給食を届けていきたいという気持ち。

・本町小学校です。今週の22日から1年生の給食が始まって、教室に手伝いに行ったんですけど、今日担当した児童さんは、とても上手できっちり配れて、なんて器用な子だろうと思って、感動した。今年の1年生は上手で速いので、給食の開始時間も先週より5分遅く始めても大丈夫と先生のお墨付き貰っているくらいすばらしい。

・三小です。昨年三小では大規模改修があって、冷暖房完備になって、体が楽になったというか、作業がすごくしやすくなった。冷暖房がどんどん取り入れて欲しいと思う。それから、食数の一番多い学校なので、日頃からみんなとチームワーク、声かけながら、あと健康、普段の生活に注意して作業に望むようしている。

・コロナ禍の給食ということで、様々な対応に苦慮することがあったが、調理員の休憩の取り方、調理作業中の導線、作業の指示をしなくてはならないが、話ができないので、コミュニケーションに苦労した。また、調理作業中に使用するニトリル手袋やマスクの調達に苦労した。

・食事以外はマスクをする。食事中でも話すときはマスクをするということを徹底している。また、教室をお借りして、

調理員を分けて休憩を取っている。緑小さんは校舎が入り組んでいるので、配膳台を運ぶのに人手が必要で、曲がり角にお手伝いとして立つようにしている。四小さんも緑小さんも冷暖房無いが、昨年スポットクーラーを入れていただいた。部屋全体を冷ますものではないが、冷風があたると涼しいので、大分楽になったと聞いている。

・今年の4月から学校給食に異動になったが、以前は企業様の食堂のマネジャーを担当していたんですけども、イメージが違いまして、まず衛生面、これは学校給食、非常にしっかりしていて、作業でエプロン、手袋を変えてやっているが、企業様の方は、1個のエプロンで全部の作業をしていた。それから、我々の小中学校のときの学校給食ってこんなにおいしかったかなというくらい、一から手作りで非常においしいと思った。去年からコロナ禍ということで、学校で子供たちがコロナ対策をしている中で我々も食事のとり方、分散喫食で密にならないようにしたり、1人でもコロナに感染してしまうと学校様にも迷惑をかけることになるので、十分気を付けている。

・コロナ禍ということで、まず調理員が出勤できないと給食が提供できなくなってしまうということで、毎日の体調管理、何かあった時には、会社の上層部まで連絡を上げるということをやっている。他の自治体さんですが、コロナの陽性者が調理員から出てしまい調理員全員を入れ替えたという事例もあった。南小さんでは、調理員紹介ということで、調理員の写真が給食室の前に貼ってあって、顔が見える給食室といえますか、調理員さんも名前を呼んでもらうと嬉しくなると聞いている。

・給食が先週の木曜日から始まって、1年生の娘が1日目はパンだったんですが、完食してお替りしたって、スープのお替りして帰ってきて、二日目はご飯だったんですけど、ご飯の方が時間がかかるのか、食べる時間が足りなくて残してしまったと聞いている、給食の食べる時間、中学校だともものすごく短い、指針に噛む習慣というのを書いてあったので、噛む習慣というのを時間が取れるようにやっていただきたい。

・1年生になって初めての給食をとっても楽しみにしていて、最初の日にはチキンソテーで、鶏の皮がついているものと、ついていないものがあったみたいで、うちの子は鶏の皮が苦手だったので残してしまったとのこと。鶏の皮って、大好きな子と全然好きじゃない子と別れるが、配膳のところで均一にならないのかなと思う。作ってくださる方々が栄養の面を考えてくださる方々にお会いすることで、会話を楽しめるようになったと思う。

・給食委員会になって2期目になる。今、委託の問題とか課

題として挙げられているが、このような場で直営の先生方と委託の方々と交流とか意見とか様子を聞けるというこの場は、すごい貴重な場と思う。この6月からHACCPって言って、衛生管理がとて厳しくなる。給食を作っている皆さんは、大量の食事を提供しなければならないので、この厳しさというものはものすごいものがあると思っている。地場野菜を昨年はかなり取り入れる方向、頑張ってくださいって、虫がついていたり、土が残っていたり。それをきちんとした形で提供していくということを、暑い過酷な労働環境のなかでやっていかなきゃいけないというところで、感謝している。小金井の給食の良さをその質を担保していくということは、私たち保護者とか市民は子供の未来の健康管理だったり、大事な食育の場とっていて、教育はその授業の一環だというふうに私たちは捉えている。質を担保することに対して、そこはきちんと丁寧に取り組んでいきたいと願っている。

・今までの話を聞いていて涙が出そうになった。委託会社の方々日々の体調管理とか努力していること、大変ありがたい。スポットクーラーや冷暖房設備で体が楽になったと伺ってほんとに良かったと思っている。まだのところもあるので早く進めていただきたい。給食って小学校だと一番楽しみにしてるお子さん多いと思うんですよ、皆と同じものを食べて、話して楽しい場なのに、それができずに前を向いて黙々と、子供たち健気で。聞いていると泣けてくる。献立で工夫したり、日々の努力にただただありがたいと思う。少しでもこの環境が維持向上できるように、及ばずながらお力になりたいと思っている。

・一中にこの春から入られた方がフェイスブックに投稿されていたのを紹介させていただく。担任の先生が保護者会で給食の時間が一番大事だと言ってくれたのをすごい嬉しかったという内容で、いいね、が58人ついていて、他の人達もいい先生と書いていて中学生になると忙しくて、ご飯たべりゃいいみたいな感じになりがちなところもあるなか、給食の時間、食を通じてのコミュニケーションとかを大事に思ってくれているというところで、そういうふうに保護者会で言ってくれた先生がいたと、で、勉強だけじゃなくてその先生は、人ってものを育てることを大事に思っているのだなというのを、その発言から感じたんだと思う。私たちいろいろ厳しいことも言うが、基本的にどんな体制であろうとも、働く人、食べる人、それから全体をまとめる人たち、みんな気持ちよく仕事をしていただけるということをお大事にしたいと基本的に考えている。

・4回しかないなので、先ほど指針については、この会の前後の時間で栄養士さんに聞いてもらうみたいな形でまとまったと思うんですけど、講演会については個別にグループ作って

	<p>決めた方がいいんじゃないかという話もあって、もちろん最終的には、この場で調整するわけですけど、そういった企画については何か考えるようなことをしていかないと、4回では間に合わないと思う。</p> <p>・以前も科学の祭典に出展したときに、グループを作ってやっていったことがありますので、そういった形でできればと思う。</p> <p>(会長)</p> <p>グループに参加してもいいという方いるか。</p> <p>では、講演会については、手が上がった4人の方にたたき台というか案を考えていただく。</p> <p>(事務局)</p> <p>コロナ禍の宣言中ですので、くれぐれも気を付けて。</p> <p>(会長)</p> <p>事務局と連絡を取りあって進めていただけるようお願いする。</p> <p>(6)次回の開催について</p> <p>(事務局)</p> <p>緑小学校の給食の試食日に開催したいと考えているが、先ほども申し上げたとおり、行えるかどうか未定です。具体的な日時等決まりましたら連絡させていただく。</p>
<p>決定事項</p>	<p>(1)会長：不破委員、副会長：宇野委員、伊熊委員</p> <p>(2)今年度の活動内容について</p> <p>ア 給食の試食</p> <p>イ 農家見学</p> <p>ウ 講演会（検討グループの設置）</p>
<p>次回の開催</p>	<p>(1)次回の開催日程等について</p> <p>日時等 未定</p>